授業科目名	開講年次	開講時期	単位数	時間数	実務経験
成人老年看護学実習Ⅱ	3年次	前期	3	120	有

科目責任者	小形紀子他
目的	急速に健康状態が変化する成人・老年期患者を総合的に捉え、異常の早期発見と日常生活の自立／自律に向けた回復の促進を目指し、看護実践に必要な臨床判断と看護実践能力を養う。
目標	1. 急速に健康状態が変化する患者を身体的・心理的・社会的・文化的側面から総合的に理解できる。 2. 対象の状態を把握し、安全・安楽に留意した看護援助を実践・評価することができる。 3. 合併症予防のために必要な看護を理解し、日常生活の自立/自律に向けた回復支援について述べることができる。 4. 急性期医療における看護師の役割を理解し、対象者をとりまく保健医療福祉関係者間の協働の必要性について説明できる。 5. 看護実践における自己の行動を振り返り、看護者としての在り方や看護観を深め、自己の課題を明確にできる。

内容	回	内容
	1	学内オリエンテーション（実習目的・目標・方法、病棟の概要等） 学内演習（知識・技術） 病棟オリエンテーション、受け持ち患者の紹介・挨拶、情報収集
	2	（1例目）患者の情報収集、アセスメント、関連図作成、看護問題の抽出
	3	
	4	学内演習（患者のアセスメント、関連図作成、看護問題の抽出、技術練習、文献検索）
	5	中間カンファレンス、看護計画立案
	6	中間評価面接、計画に基づいた看護ケアの実施、評価・修正
	7	（2例目）患者の情報収集、アセスメント、関連図作成、看護問題の抽出、看護計画立案、計画に基づいた看護ケアの実施、評価・修正
	8	
	9	学内演習（患者のアセスメント、関連図作成、看護問題の抽出、看護計画立案、技術練習、文献検索）
	10	（2～3例目）患者の情報収集、アセスメント、関連図作成、看護問題の抽出、看護計画立案、計画に基づいた看護ケアの実施、評価・修正
	11	
	12	
	13	
	14	最終カンファレンス、計画に基づいた看護ケアの実施、評価
	15	記録提出、最終評価面接

履修条件	1・2年次のすべての単位を修得していること
評価方法・基準	実習要綱に定める